



種 別	市指定 有形文化財（絵画）
名 称	かわうちふうけいずびょうぶときのみのもし(みのむしさんじんひつ) 川内風景図屏風土岐蓑虫(蓑虫山人筆)
員 数	6曲1双
大 き さ	縦:175cm 横:376cm (各扇:縦 130.5cm×横 50cm)
指 定 年 月 日	平成2年3月20日
所 有 者	宗教法人 泉龍寺
所 在 地	むつ市川内町川内90番地

明治11年(1878)に製作された蓑虫山人の初期の作品である。

蓑虫山人とは、美濃国出身の画人で、人生の48年という歳月を自製の野宿用天幕を携えて旅していた人物である。

制作年の秋に田名部、津軽を訪れ、川内の様子を描いた。当初は12枚の襖絵として製作したが、後に屏風に改装された。川内港や大滝など、明治初期の川内が忠実に描かれており、当時の様子をうかがい知ることができる。